

福島県農業総合センター令和7年度研究成果発表会 開催要領

令和7年度に農業総合センターの試験研究で得られた各分野の最新研究成果を中心に、会場及びオンラインにより研究成果発表会を開催し、広く情報の共有を図ります。

1 主催

福島県農業総合センター

2 内容

- (1) 研究成果の発表
- (2) 研究成果のポスター展示

3 開催日時、場所、定員

地域・分野	日 時	定員	会 場
畜 産	令和8年3月 3日(火) 13時15分～15時20分	20	福島県農業総合センター畜産研究所会議室 (福島市荒井字地藏原甲18番地)
果 樹	令和8年3月 4日(水) 10時30分～15時30分	100	J A福島ビル 1001会議室 (福島市飯坂町平野字三枚長1番地1)
本 部 (作物、園芸)	令和8年3月 9日(月) 13時～15時30分	70	福島県農業総合センター 多目的ホール (郡山市日和田町高倉字下中道116番地)
浜通り	令和8年3月10日(火) 10時～16時	40	linkる大熊 多目的ホール (大熊町大川原字南平1207-1)
県 北	令和8年3月11日(水) 13時15分～15時30分	50	J Aふくしま未来桑折支店2階大ホール (伊達郡桑折町字館28)
会 津	令和8年3月12日(木) 13時～15時45分	40	J A会津よつば河東支店会議室 (会津若松市河東町広田字横堀51)

※発表内容の詳細は、別紙1～6を御確認ください。

※「県北」ではオンライン配信は実施しません。

4 参加申込方法 事前申込制(先着順)となります。

(1) 会場参加(各会場の会場定員まで)

ア「ゆびナビぷらす(右記二次元コード)」からお申し込みください。

イ「参加申込書(様式1)」を、FAX又はメールで農業総合センター企画技術科へ送信ください。

(2) オンライン参加(Zoom配信。前日までにURLをメールでお知らせします。)

ア「ゆびナビぷらす(右記二次元コード)」からお申し込みください。

イ「参加申込書(様式1)」をメールで農業総合センター企画技術科へ送信ください。



ゆびナビぷらす

5 その他

(1) 会場内でのマスクの着用は、個人の判断にお任せします。

(2) 熱や咳、倦怠感があるなど体調のすぐれない方は、参加を御遠慮願います。

問い合わせ先 福島県農業総合センター企画技術科 Tel 024-958-1700

畜 産 (畜産に関する成果の発表)		
日 時	令和 8 年 3 月 3 日(火) 13 時 15 分～15 時 20 分	
場 所	福島県農業総合センター畜産研究所会議室 〒960-2156 福島市荒井字地蔵原甲 18 番地	
内 容	13:15 ～ 15:20 1 研究成果発表 (1) 牛枝肉の横断面画像から脂肪交雑形状に関するゲノム育種価の推定が可能である (2) AI-MEAT により 17 カ月齢から 5 等級推定が可能 (3) 開放型育種により「フクシマ L 2」の近交係数が抑制され、繁殖能力が維持された (4) 肥育豚用市販配合飼料の 30% を桃飼料で代替できる (5) 搾乳ロボット導入による乳生産性及び労働時間の変化 (6) 開発した県産原料 100% の黒毛和種繁殖雌牛用混合飼料は市販配合飼料と全量代替が可能 (7) トールフェスクは単一草種でも黒毛和種繁殖雌牛放牧に利用できる 2 総合討論	
終 日	成果に関するポスター展示	
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 農業総合センター畜産研究所	Tel 024-958-1700 Tel 024-593-1221

果 樹 (果樹に関する成果の発表)		
日 時	令和 8 年 3 月 4 日(水) 10 時 30 分～15 時 30 分	
場 所	J A 福島ビル 10 階 1001 会議室 〒960-0231 福島市飯坂町平野字三枚長 1 番地 1	
内 容	1 モモ (1) モモ「はつひめ」の収穫期予測システムの開発 (2) 「あかつき」に続いて収穫できる「モモ福島 18 号」と「モモ福島 19 号」の特性 (3) 甘くて大きい晩生系統「モモ福島 20 号」の選抜 (4) 「ひだ国府紅しだれ」実生を台木に利用することでモモ「はつひめ」の樹勢を抑制できる (5) モモのジョイント V 字トレリス樹形における果実生産性 (6) 果実硬度非破壊測定器「ゆびけん」を用いたモモの収穫適期および核割れ果推定技術 (7) モモ「あかつき」の平棚栽培の特徴 (8) モモの半量減肥による土壌及び生育への影響 (9) 雨よけ栽培の継続によってモモせん孔細菌病が減少し殺菌剤の使用を大幅に削減できる (10) 殺菌剤使用時の展着剤加用によるモモ果実の葉斑軽減効果 2 ナシ (1) ナシ「あきづき」の新一文字型樹形は定植後 15 年目を経過しても多収を維持できる (2) ナシ「豊水」における収穫期直前の高温は地色の抜けに影響するため“みつ症”の発生に注意を要する (3) 「ナシ福島 7 号」の食べごろを示す果皮色 (4) ナシ黒星病対策の落葉処理にはロボット自走草刈機を活用できる 3 リンゴ (1) 白色化繊維布を利用することでリンゴ「ふじ」の日焼け果発生を抑制できる (2) DNA マーカーによりリンゴ交雑実生の幼苗を効率的に選抜した (3) 果樹に寄生するハダニ類の薬剤感受性の実態 (4) リンゴ褐斑病の一次感染期にはマンゼブ水和剤(商品名:ジマンダイセン水和剤)が有効である 4 ブドウ、その他 (1) ブドウ盛土式根圏制御栽培における遮光の影響 (2) ブドウ黒とう病の効果的な防除方法 (3) 官能評価結果から見た「シャインマスカット」果実外観の嗜好性 (4) 早期に収穫したカキ「会津身不知」は炭酸ガス脱渋後 3 週間まで貯蔵が可能である (5) ユズ苗木新植時の表土処理により果実や土壌の ^{137}Cs 吸収が抑制できる	
終 日	成果に関するポスター展示	
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 農業総合センター果樹研究所	Tel 024-958-1700 Tel 024-542-4951

本 部 (稲作、畑作、野菜、花きに関する成果の発表)	
日 時	令和 8 年 3 月 9 日(月) 13 時～15 時 30 分
場 所	福島県農業総合センター多目的ホール 〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地
内 容	13:15 ～ 15:30 1 作物関係 (1) 高温登熟性に優れる水稲有望系統「福島 59 号」の育成 (2) 過去 10 年間の気象データに基づく「福笑い」の成熟可能性マップの作成 (3) 3 回代かき、湛水移植・深水管理、機械除草の組み合わせによる水田除草の防除効果 (4) 南相馬市及び浪江町における斑点米の被害予測と防除時期 (5) 中通り北部・中部でのクモヘリカメムシ定着のおそれ (6) 中山間地域における稲作経営体でのスマート農業技術導入上の課題 (7) 福島県内で栽培した場合の米粉用品種の生育特性 (8) カリ上乘せを終了した水田土壌の交換性カリ含量の動向 (9) 2017 年以降の水田土壌の交換性カリ含量の推移 (10) 小麦品種「夏黄金」の安定生産のための栽培暦の作成(中通り地方) 2 園芸関係 (1) 夏季高温期収穫作業が軽減でき、翌春の収量が増加するアスパラガスの夏季追加立茎法 (2) 夏季高温条件下におけるサヤインゲンの高温耐性品種「ナリブシ」の収量性 (3) 夏季高温期の生産を回避したサヤインゲンの収量性 (4) 土壌消毒後に発生するトルコギキョウ立枯病の発病要因 (5) リンドウ「天の川」の上位出荷規格別割合を増やす施肥方法 (6) 官能評価結果から見た「シャインマスカット」果実外観の嗜好性 3 研究員による技術相談コーナー (1) 高温対策 (水稲、野菜、花など) (2) 病害虫対策 など
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 Tel 024-958-1700

浜 通 り (浜通り地域の農業、営農再開に関する成果の発表)	
日 時	令和 8 年 3 月 1 0 日(火) 1 0 時～1 6 時
場 所	l i n k 大熊 多目的ホール 〒979-1306 大熊町大川原字南平 1207-1
内 容	1 農林水産分野の先端技術展開事業関係 (1) 施設夏秋キュウリにおけるつる下ろし栽培の導入効果 (2) タマネギ秋まき直播栽培におけるイネ科雑草防除方法 (3) 相双地域のタマネギ秋まき移植栽培において有効な雑草防除体系 (4) 水稻乾田直はの生育目標値と追肥の効果 (5) 南相馬市及び浪江町における斑点米の被害予測と防除時期 (6) 中通り北部・中部でのクモヘリカメムシ定着のおそれ (7) 土壌の交換性カリ含量 30mg/100g 乾土以上を確保できればトールフェスクの ^{137}Cs の移行は低く抑えられる 2 水稻・畑作関係 (1) 実生を用いたノビエの除草剤抵抗性検定法の開発 (2) 水田におけるナガエツルノゲイトウ対策を考慮した防除体系 (3) 中通り中山間高冷地でも製日本めん・製パン適性に優れるコムギの栽培は可能である(川俣町) (4) マメ科緑肥作物による地力回復技術の実証 (5) 営農再開前に活用できる塩素酸塩粒剤による効率的な雑草防除 (6) カンショ連作栽培では冬季に緑肥作物としてライムギの導入が可能である(檜葉町) 3 園芸関係 (1) ピーマン斑点病に対する初期防除の効果(川内村) (2) 土壌の交換性カリ含量を高めることでブロッコリーへの放射性セシウム移行を低減できる (3) 防草シート全面敷設処理と薬剤防除によるユウカリ斑点性病害対策の事例(檜葉町) (4) 生産者間で栽培管理状況を情報共有できる「通い農業支援システム v2」の実証 4 畜産関係 (1) イタリアンライグラス「タチサカエ」は収量が多く、耐倒伏性が高い(飯舘村) (2) 飼料用トウモロコシは絹糸抽出期以降では ^{137}Cs 濃度は変動しない 5 鳥獣害関係 (1) 営農再開地域におけるアライグマの行動特性と罠餌嗜好性の調査
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 Tel 0 2 4 - 9 5 8 - 1 7 0 0 農業総合センター浜地域研究所 Tel 0 2 4 4 - 3 5 - 2 6 3 3 農業総合センター浜地域農業再生研究センター Tel 0 2 4 4 - 2 6 - 9 5 6 2

県 北 (県北地域に関する成果の発表)	
日 時	令和 8 年 3 月 1 1 日(水) 1 3 時 1 5 分～1 5 時 3 0 分
場 所	J A 福島未来桑折支店 2 階大ホール 〒969-1616 伊達郡桑折町字館 28 番地
内 容	13:15 ～ 15:30 1 作物関係 (1) 高温登熟性に優れる水稻有望系統「福島 59 号」の育成 (2) 過去 10 年間の気象データに基づく「福笑い」の成熟可能性マップの作成 (3) 福島県内で栽培した場合の米粉用品種の生育特性 (4) 南相馬市及び浪江町における斑点米の被害予測と防除時期 (5) 中通り北部・中部でのクモヘリカメムシ定着のおそれ (6) 中山間地域における稲作経営体でのスマート農業技術導入上の課題 (7) カリ上乘せを終了した水田土壌の交換性カリ含量の動向 (8) 2017 年以降の水田土壌の交換性カリ含量の推移 (9) 小麦品種「夏黄金」の安定生産のための栽培暦の作成(中通り地方) (10) エゴマ小規模経営体における経営指標 2 園芸関係 (1) 「ニーナ Z」の夏秋キュウリのつる下ろし栽培で収穫枝を更新すると減収せずに誘引時間を短縮できる (2) 夏季高温期の収穫作業が軽減でき、翌春の収量が増加するアスパラガスの夏季追加立茎法 (3) 夏季高温条件下におけるサヤインゲンの高温耐性品種「ナリブシ」の収量性 (4) 夏季高温期の生産を回避したサヤインゲンの収量性 (5) 近年新たに販売された 8 月咲き小ギク品種の電照による開花抑制効果と高温開花遅延の程度 (6) モモの半量減肥による土壌及び生育への影響
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 Tel 0 2 4 - 9 5 8 - 1 7 0 0

会 津 (会津地域の農業に関する成果の発表)	
日 時	令和 7 年 3 月 1 2 日 (木) 1 3 時 ~ 1 5 時 4 5 分
場 所	J A 会津よつば河東支店会議室 〒969-3471 会津若松市河東町広田字横堀 51
内 容	13:00 ～ 15:45 1 水稲・畑作物 (1) 高温登熟性に優れる水稲有望系統「福島 59 号」の育成 (2) 3 回代かき、湛水移植・深水管理、機械除草の組み合わせによる水田除草の防除効果 (3) 中山間地域における稲作経営体でのスマート農業技術導入上の課題 (4) RTK-GNSS 制御の小型レベラーによるほ場均平化 (5) 小麦品種「夏黄金」の安定生産のための栽培暦の作成(中通り地方) 2 野菜 (1) 夏季高温条件下におけるサヤインゲンの高温耐性品種「ナリブシ」の収量性 (2) 夏季高温期の生産を回避したサヤインゲンの収量性 (3) 施設夏秋キュウリにおけるつる下ろし栽培の導入効果 (4) 夏季高温期の収穫作業が軽減でき、翌春の収量が増加するアスパラガスの夏季追加立茎法 (5) アスパラガスの茎色評価指標の策定 (6) 会津産アスパラガスの流通品質評価 3 花き (1) シュッコンカスミソウ輸出時の鮮度保持技術 (2) シュッコンカスミソウ栽培のUVカットフィルム被覆によるアザミウマ類侵入の抑制効果 (3) 土壌消毒後に発生するトルコギキョウ立枯病の発病要因 4 果樹 (1) ブドウ黒とう病の効果的な防除方法 (2) 早期に収穫したカキ「会津身不知」は炭酸ガス脱渋後 3 週間まで貯蔵が可能である 5 鳥獣 (1) 果樹園でのカラス被害は収穫期の 1 か月以上前から発生する (2) 果樹園でのドローンによるカラス追払いの効果
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 Tel 0 2 4 - 9 5 8 - 1 7 0 0 農業総合センター会津地域研究所 Tel 0 2 4 2 - 8 2 - 4 4 1 1